

# 私の昭和20年8月 1945年

富谷町志戸田三ヶ森1 永澤 義人

## 1. 昭和20年8月15日は日本にとってどんな日だっただろうか。

日本という国は神の国で外国との戦いときには神風がふいて敵の軍艦を沈めて必ず勝つと言う風に教えられてきたのでした。

その我が国日本はアメリカ・イギリス・フランス・ロシヤの連合軍・中国に負けた時だったのでした。

## 2. その時 私永澤義人は何をしていたでしょうか。

その時 私、よっと先生は15歳でした。仙台育英中学校の3年生でした。

勤労働員で松島の今の松嶋高校にあった海軍の施設部というところにいました。松島の山のいたるところに穴があいています。多賀城にあった海軍の武器をつくる工場の一部を松島の山に穴を掘ってその中に旋盤などの機械をおいて、そこで武器をつくるようにしようと作業を進めているのでした。それは多賀城ではアメリカのB29に爆撃されるから軍需工場を松島の疎開させたのでした。

私たち勤労学生の仕事はその新しい山につくった軍需工場をアメリカのB29に見つからないようにカムフラージする仕事でした。

## 3. その海軍施設部には

高城の海軍施設部には海軍の兵士数人と工業学校を卒業したばかりの若い技術者と朝鮮から連れてこられた韓国の労働者80人くらいと私たち育英中学校3年3組の45人と育英の斉藤先生がいました。

海軍の兵士の指揮のもとにありました。

その時の生活は 朝6時起床 朝食 べんとうを持って作業場に出発

作業をして

夕方には午後5時には宿舎に帰り 風呂 夕食という日程でした。

でも朝鮮の作業員は朝早く出かけ、夜暗くなって帰ってくるというのでした。

私達は 家から離れた寂しさはありましたが

そのころは普通の家庭では食事の材料は米までも配給で充分食べられなかったのに海軍の施設部では毎食大きい魚の切り身がつきご飯もたっぷり食べることができ、たまには肉もでてきたので食事では大満足でした。

ところがある日食事当番で炊事場に食事をとりにいくと軽作業の私たち育英中学校の勤労働員の生徒の食事は白い御飯なのに朝鮮の人の食事は米はわずかで野菜や雑穀のはいったさらさらというお粥だったのでした。

## 4. 仙台空襲

7月10日は仙台空襲でした。

夜 夕食が終わって暗くなったころ空襲警報が発令になりました。私たちは防空壕に避難させられました。

まもなく南の空 仙台の方が明るくなり空が真っ赤になりました。

焼夷弾の爆撃で仙台の木製の住宅だったのでおおくの家は燃えてしまいました。仙台に家のある生徒は不安気でした。

休みに家にかえるために仙台駅についたときは驚きました。仙台駅から大学病院が見えるのでした。仙台は焼け野原でした。仙台市電の環状線の中には家はほとんどみえません。あのりっぱな加藤利吉先生が造られた育英中学校もすっかり焼けていました。

#### 5. 私たちの作業は

工場の入り口が工場になっていることが敵に分からないように擬そう工作をするのです。みんなで穴がかくれるくらいの網をつくります。その網を穴の入り口いっぱい張るのです。10人くらいの人で網の端をもって穴のふちにたって杭をさしこんで網を止めるのでした。

次は木の枝や大きい草の株をとってくるのでした、そしてその緑の枝を穴に張った網にすきまなくとれないように枝をさすという作業でした。

B29からここに工場があるということがわからないようにがんばって仕事をしました。山に入って木の枝をとったり、大きい草をとるのは中学生にとっては楽しいことでした。山の上で楽しみながら仕事をしました。

穴のそとにも建物をたてました。その建物がアメリカの飛行機に軍関係の建物。

見えないように塗装をするという仕事もありました。クレオソートというくさい塗料をぬるのはすごくいやでした。ものすごく暑い太陽の照りつける日に屋根に塗料を塗るのは大変な仕事でした。当時ですからお国のためとがんばって仕事をするのでした。

#### 6. B29にはやっぱりいたずら中学生が見えたのか

松島の高城では山の上に畑をつくってジャガイモを栽培していました。おながすすいていたわけでもないのに

「ジャガイモなまでも食べっぺい」

と叫んでジャガイモの株をぬこうとしたときにアメリカの戦闘機のグラマンが急降下してきて、機関銃をバリバリと撃ってきました。私たちはジャガイモの中にかくれました。わたしたち8人はだれも無傷でたすかりました。ジャガイモはぬかずに食べずに逃げ帰りました。グラマンのおかげで悪いことをしないで済みしました。

#### 7. 8月15日

8月15日の朝に「斉藤先生が今日は作業にいかなくてもいい。部屋で寝ころんで休んでいなさい。お昼に大事な放送があるからとおっしゃいました。」

お昼に営庭に全員があつまりました。

放送がはじまりました、雑音でなにがなんだかわかりません。それでも斉藤先生が

「日本は戦争に負けたんだ」

とおっしゃいました。

#### 8. 3日くらい施設部のしごとをして帰宅です

毛布など荷物をしょえるだけもって家にかえりました。よろこばれたのは砂糖でした。

#### 9. おわりに

84歳のヨット先生、69年まえのことです。あやしい記憶です。ある数十日のことです。